

みやぎのだより

No. 78

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成26年1月31日



婦人部栗原支部研修会

CONTENTS

新年の挨拶	1	New face ～新人紹介～	8
輸入粗飼料情勢について	3	牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会	8
平成25年度生乳需給状況について	5	受精卵子牛市場情報	9
第11回 乳用牛ベビーショー開催	6	理事会通信	9
酪農フレンズパーティー開催される	7	業務報告	10・11
東北酪農青年婦人会議25年度秋季酪農研修会	7	人事のお知らせ	11
婦人部栗原支部研修会	7	編集後記	11

新年の挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

濱田 茂



新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には希望に満ちた新年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から今年で3年目を迎えようとしていますが、いまだ不自由な生活を余儀なくされている皆様が一刻も早く元通りの生活に戻ることができますよう、国や県を始めとする復興計画の早期執行を望むものであります。

昨年は、政権が変わって1年目を迎え色々な政策が打ち出されました。TTP(環太平洋経済連携協定)への対応や新たな経営所得安定対策の実施などが課題となっている中、生産調整(減反)の廃止に伴う補助金の見直しによる主食用米の生産調整は、補助金を増額する飼料用米への作付誘導という形で進むことになります。

そして、日銀による異次元の金融緩和の影響で円安による生産コストの増加が継続しており、輸入粗飼料・配合飼料の高騰により、生産者の負担の増加が余儀なくされております。さらに、TTPが締結されれば、農畜産物の輸入量が大幅に増加することが懸念され、日本酪農の生産基盤が維持できなくなるのではないかと考えますので、断固として反対してまいる決意であります。また、4月には消費税が8%に増税されることが決定されており、農業を取り巻く環境は大変な時を迎えようとしております。

そうした中、酪農の維持発展を図っていくためには、配合飼料価格安定制度の適切な運用を図りながら、飼料原料を輸入に依存した経営から国産飼料の生産利用の拡大を推進し、生産コストの削減や生産性の向上に加え、酪農に対する消費者の理解醸成、生乳の安全安心の確保、牛乳の消費拡大等に向けた取り組みが欠かせないと思います。

私どもみやぎの酪農は、これからも引き続き、組織・事業基盤の強化及び財務の健全化を図り、事業の効率化を進めながら役職員一丸となって組合員皆様の利益向上を基本に、将来とも酪農に希望が持て、生産意欲に満ちた酪農経営の推進に努める所存でありますので、今後なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、平成26年が組合員皆様にとって限らない幸せと健やかな毎日でありますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶と致します。



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事専務

佐藤 孝雄



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様にはご家族お揃いで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

常日頃、組合運営に対し、ご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

東日本大震災と原発事故の発生から間もなく3年を迎えようとしています。復旧復興はようやく進み始めましたが、原発事故の収束はまだまだ先が見えません。

一時は、県産原乳から放射性物質が検出され、行政や指導機関と連携しながら、牛乳から「セシウムゼロ」を目指して取り組みを続けて参りました。現在のところCS・集乳路線ともゼロが続いております。消費者に安全安心の牛乳を届ける為に組合員皆様のご理解とご協力を今後ともお願いいたします。

草地除染は8割超の面積が完了しました。しかし一部では、県が定めた牧草の規制値をクリアできずに再除染が必要なケースもあります。

政権交代後の経済政策による円安や一昨年の米国のトウモロコシの不作もあり、過去最高の配合飼料・輸入乾牧草の高値が続き、我々の経営を圧迫しております。

昨年10月より、飲用向け乳価が5円引き上げられましたがコスト上昇分をカバーするまでに至っていません。

加えて政府はTPP交渉参加を決定し、年末ギリギリまで各国と交渉しましたが妥結に至らず越年しました。重要5品目が全て守られるように注視しながら、今後も要請活動を続けていかなければなりません。

26年度予算については、加工原料乳補給金単価がキログラム当たり実質13円25銭に引き上げられました。また、25年度で終了の予定だった酪農ヘルパー制度の国からの支援も形は多少変わるようですが、引き続き支援継続となりました。新しく都府県酪農家支援として経産牛1頭当たり6100円の支援事業も決定されました。

これらの決定には自民党酪政会の先生方の力が有っての事ですが、酪政連活動を粘り強く続けてきた結果と思います。

4月からの消費税増税やエサの高止まりは当分続く事が懸念されます。このように厳しい状況の中、今年はまだ一度、酪農の基本である自給飼料の増産を目指し、講習会等も開催したいと思います。循環型酪農の再構築を図り、安定した酪農確立の一助になればと思います。また、DMSを活用しながら青色申告や消費税、本則課税への移行を促して農家それぞれが経営の分析と改善の手助けになるよう努めて参ります。

26年も難問山積みの1年となりますそうですが役職員一丸となり皆様の為に頑張ってお参ります。

皆様にとって、最良の1年となるようお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。

輸入粗飼料情勢

明けましておめでとうございます、本年もよろしくお願いいたします。

2013年はあまりよい情勢をお伝えできませんでしたので、2014年は明るい情勢をお伝えできるよう願っておりますのでよろしくお願いいたします。

北米コンテナ情勢

1月～3月のBAF(燃料価格変動に対して調整される運賃)は多くが10ドルの値下げが実施されました。GRI(基礎レート)については1月より値上げ予定でしたが、2月に延期されている模様ですが、どの船会社もコンテナ部門の採算悪化が続いていることから今後も、強含みで推移することが予想されます。

PSW(太平洋側南西部地区)では、これまで船積みスペースに余剰感がありましたが、穀類の相場が軟化していることから、ここにきてアジア向けのコンテナ積み込みが急増しており序々にタイトになってきている模様です。

PNW(太平洋側北西部地区)では、輸入量より輸出量が多くコンテナ不足が続いております。また、本格的な冬の到来となり、天候や道路状況による港までの搬入の遅れも心配され、今後も注意が必要です。

①ビートパルプ

(US産)

9月より13年産の収穫が始まりました。春先の冷涼な気候や進捗の遅れ、砂糖相場の低調から、生産量は12年産より5%減少すると伝えられていました。当初はトウモロコシなどの穀物相場同様に価格の軟化を予想しておりましたが、欧州からの引き合いも強いことから価格は堅調に推移すると予想されます。

(中国産)

13年産ビートパルプは12年産より25%減少すると伝えられております。中国国内需要が拡大し日本や韓国向けの中国産ビートパルプは、買付けを断念させる価格を提示されているとも聞かれております。

②アルファルファ

13年産はどの産地においても降雨被害を受けており、良品の発生量は限定的な物となりました。410月の米国産のアルファルファ輸出量は、UAE(554万トン)、中国(472万トン)、日本(366万トン)は3位となりました。

全体の輸出量の6割をUAEと中国で占めており14年産以降も両国への輸出量は増えると予想されることから、今後の動きに注意が必要です。

③チモシー

(US産)

13年産チモシーは主産地のコロンビアベースン、エレンスバーグでは1番刈の収穫時期に降雨被害があり8～9割が深刻な被害を受けました。雨あたり品まで韓国などに輸出されどのグレード品も完売状

態です。近年、作柄がよくても、悪くても高値で売れており、「儲かる農産物」と称され、また、トウモロコシなどの穀物相場も軟化していることから14年産の作付面積は増えるの見込まれます。

(カナダ産)

13年産は主産地のレスブリッジ、クレモナでは1番刈の収穫時に降雨被害がありU S産同様に作柄は悪い状況となりました。

作柄が悪いのにもかかわらず順調な需要と船積み、小麦、菜種などの穀物相場の軟化から14年産のカナダ産チモシーの作付面積はU S産同様に増えるの見込まれます。

④豪州産オーツヘイ

(西豪州産)

13年産は5～6割が雨あたり品となっております、軽く当たったものから5、6回当たったものまで圃場やスタックにより様々でハイグレード品は限定的なものとなっております、単収は例年より多いですが、分析値が12年産と比較すると良くない傾向となっております。中間グレード品以下の発生が中心となると予想されます。

(南豪州産)

13年産は3～4割に降雨被害が発生しております。西豪州に比べ程度は軽いようです、生育時に十分な降雨があり、見た目も良く単収も例年より多いですが、どのスタックも分析値が良くない為、西豪州産同様にハイグレード品は限定的となり、中間グレード品以下の発生が中心となると予想されます。

(東豪州産)

13年産は2～3割に降雨被害が発生しておりますが、西豪州や東豪州に比べ少ない模様です。こちらも生育中に十分な降雨があり、見た目も良く単収も例年より多いですが、分析値は良くない為、西、南豪州同様に中間グレード品以下の発生が中心と予想されます。



(中間グレード品)



(ローグレード品)

以上のような厳しい状況の中ではございますが、今後、組合員の皆様にはできる限り安価に、また、安定供給に努めてまいりますので組合購買事業にご理解とご協力をお願いします。

平成25年度生乳需給状況について

販売課

1. 宮城県(販売乳量)

平成25年度4月～12月分の販売実績は前年対比99%と日量で約3.3㍑減少し、平成22年度対比94.2%と日量で約21㍑の減少となりました。また、宮城県の12月現在の出荷戸数は599戸と前年比較で29戸減少しました。

平成25年度宮城県生乳受託販売実績

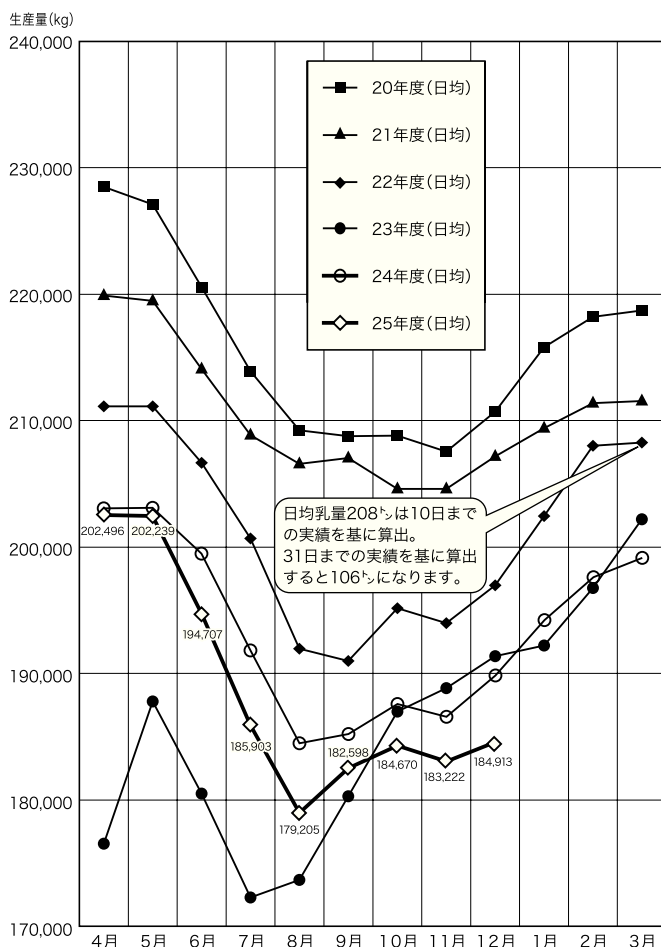
(単位: kg, %)

団体名	月	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	11月	前年比	12月	前年比	第3四半期	前年比	4月～12月計	前年比
みやぎの		18,155,064	99.0	16,756,193	97.3	5,457,507	97.9	5,763,399	98.8	16,916,795	98.2	51,828,052	98.1
全農宮城		5,020,018	95.7	4,693,827	97.2	1,519,937	98.3	1,615,934	101.8	4,675,634	98.6	14,389,479	96.6
宮城酪農		9,213,486	101.9	8,582,096	102.7	2,724,357	101.3	2,799,593	99.2	8,394,203	101.0	26,189,785	102.2
宮 城 県		38,397,421	99.3	30,032,116	98.8	9,701,801	98.9	10,178,926	99.4	29,986,632	99.0	92,407,316	99.0

2. みやぎの酪農(バルク乳量)

平成25年度4月～12月の生乳生産実績は51,936㍑で前年同期比98.2%と減少、12月の生乳生産実績は5,732㍑で前年同月比97.5%、日均乳量は185㍑と前年比較5㍑減少しました。また、出荷戸数は平成25年12月現在で332戸と前年比較で21戸減少しました。

みやぎの酪農乳量(日均)



平成25年度生乳生産実績(4月～12月 標準進捗率75.34%)

(単位: kg, %)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白 石 支 部	25	5,312,978.3	5,291,887.6	100.40	7,285,242.0	72.93
七ヶ宿支部	6	1,593,496.7	1,597,622.3	99.74	2,233,185.0	71.36
蔵王支部	30	6,103,205.8	6,221,626.0	98.10	8,567,993.0	71.23
柴田支部	21	3,329,954.4	3,419,572.0	97.38	4,610,421.0	72.23
角田支部	7	1,678,100.0	1,765,832.0	95.03	2,431,575.0	69.01
丸森支部	14	2,298,647.2	2,320,980.0	99.04	3,205,906.0	71.70
仙台支部	12	2,899,795.4	2,848,171.0	101.81	3,906,526.0	74.23
名取支部	7	828,530.0	896,633.0	92.40	1,230,960.0	67.31
黒川支部	11	1,494,884.0	1,713,249.0	87.25	2,281,048.0	65.53
大崎支部	28	2,922,857.0	3,057,860.0	95.59	4,157,515.0	70.30
遠田支部	19	4,057,395.0	4,125,547.0	98.35	5,583,649.0	72.67
加美支部	22	2,287,613.0	2,461,618.0	92.93	3,302,744.0	69.26
鳴子支部	17	1,936,177.0	2,024,953.0	95.62	2,738,288.0	70.71
一迫支部	13	2,326,762.0	2,248,251.0	103.49	3,081,999.0	75.50
築館支部	17	1,983,856.0	2,175,278.0	91.20	2,962,709.0	66.96
瀬峰支部	11	1,228,411.0	1,276,524.0	96.23	1,718,303.0	71.49
迫 支 部	14	2,599,564.0	2,278,016.0	114.12	3,196,815.0	81.32
中田支部	9	1,070,952.0	1,053,822.0	101.63	1,459,604.0	73.37
東和支部	10	1,021,255.0	1,038,575.0	98.33	1,407,181.0	72.57
志津川支部	8	947,489.0	1,025,018.0	92.44	1,393,470.0	67.99
本吉支部	11	1,081,534.0	1,076,279.0	100.49	1,469,098.0	73.62
石巻支部	7	1,031,802.0	995,052.0	103.69	1,216,002.0	84.85
豊里支部	13	1,900,250.0	1,990,684.0	95.46	2,699,767.0	70.39
みやぎの酪農	332	51,935,508.8	52,903,049.9	98.17	72,140,000.0	71.99

※ 出荷戸数については、直近の数字です。

第11回乳用牛ベビーショー開催

指導課

美里町のみやぎ総合家畜市場において、11月8日(金)第11回乳用牛ベビーショーを開催しました。

審査員には(一社)家畜改良事業団盛岡種牛センター林田光氏を迎え、総頭数33の出品牛を第1部から第4部に区分し審査が行われました。

審査の結果、大崎支部の八巻誠さん出品のエイトロールビー サッカー ワッショイ(第3部)がグランドチャンピオンに選ばれました。審査後の昼食では、牛群改良などの意見交換が行われ、組合員の交流も深まりました。

入賞者は以下のとおりです。



第11回乳用牛ベビーショー成績一覧

指導課

区 分	最 優 秀 賞	優 秀 賞	優 良 賞	グランドチャンピオン
第1部	アイスヴィレッジ コラミー ロッキー (有)小山牧場 (栗原支部)	アイスヴィレッジ プレイ ルイス (有)小山牧場 (栗原支部)	フィールドヴィレッジ マセラティ プリムラ 野村 泰仁(大崎支部) ゴールドデンファーム アメージング ダンディ 砂金 篤孝(栗原支部) 申請中 宮城県加美農業高等学校	エイトロール ビー サッカー ワッショイ 八巻 誠 (大崎支部)
第2部	アイスヴィレッジ ブリッツ ディストライ (有)小山牧場 (栗原支部)	エイトロール マスターピース JY 八巻 誠 (大崎支部)	エイトロール HHマンモス マロン 八巻 誠(大崎支部) スペシャル マンモス アイオン 伊藤 紀彦(栗原支部) ビーチフィールド シャウト ブループラット 濱田 賢志(大崎支部)	
第3部	エイトロール ビー サッカー ワッショイ 八巻 誠 (大崎支部)	エイトロール サッカー P ドーラン 八巻 誠 (大崎支部)	ビーチフィールド シャウト バーバラ 濱田 賢志(大崎支部) ゼルコバ フィーバー エマー 村上 飛鳥(仙南支部) カミノウ アフターショック デスチニイ 宮城県加美農業高等学校	
第4部	アイスヴィレッジ クルーズ ボーイ (有)小山牧場 (栗原支部)	アイスヴィレッジ イケメン ゴールデンボーイ (有)小山牧場 (栗原支部)	エクセレントファーム ヘグマン マットソン 鈴木 義博(栗原支部) リトルアイランド スター ブラックストン 小島 一也(仙南支部) エクセレントファーム ボルトン ジョーダン 鈴木 義博(栗原支部)	

第9回酪農フレンズパーティー開催

指導課

仙台勝山館のスカークレットプラザに於いて、12月8日(日)酪農家の独身男性と酪農に関心のある公募した一般の女性との、新たな出会いの場と交流の輪を広げていただく、「第9回酪農フレンズパーティー」を開催いたしました。

濱田組合長の挨拶の後、参集いただいた男性20名、女性17名が一人2分間づつ自己紹介を熱く語りました。限られた時間内で自己紹介が終わると、男性が女性の待つ次のテーブルへ移り、女性全員と会話を楽しみました。



自己紹介タイムが終わってビュッフェ&トークタイムに入ると、思い思いに語り合いながら昼食をとっていました。グループで語り合う者、カップルで語り合う者、中にはアドレスを交換する方たちも見られ楽しい時間を過ごされました。

現在、酪農家にとって大変厳しい情勢が続いておりますが、後継者が酪農を続けていくためにも、素晴らしいパートナーと出会い、励みのある明るい将来を育ていけるよう新しいカップルが一组でも多く誕生することを願っております。

平成25年度東北酪農青年婦人会議秋季酪農研修会開催される

指導課

11月19～20日、東北酪農青年婦人会議主催の秋季酪農研修会が松島の「ホテル大観荘」で開催されました。

当日は約50名余りの東北各地からの酪農家・農協等関係機関が参加し、本組合からは8名が参加しました。

今年は全酪連購買部酪農指導室課長代理の丹野靖氏を招き「経営継承の進め方～7年後の牧場を想像する～」と題し講演されました。酪農経営の引継ぎは約9割が親族であり、いかにして後継者育成をしていくかが重要になるとのことです。円滑な経営継承のために身近な「親子ゲンカが酪農を滅ぼす!？」を協議内容にディスカッションが行われました。言い争いや自分の経験などを発表し、そのポイントを絞ると日々のコミュニケーションの重要性に気づかされるということです。親子・家族であっても日々の意見交換が必要であり、相手を理解することで信用が生まれスムーズな引継ぎができるのではないかなどの問題点を考える研修となりました。



毎年恒例の行事ですが、大変有意義な行事でありますので、皆様の参加をお待ちしております。

婦人部栗原支部研修会

指導課



婦人部栗原支部の研修会を去る12月16日(月)築館の「中照越分館」において、部員の趣味向上と部員間の融和を図ることを目的として開催しました。

今回は、フラワーアレンジメント(正月用の生け花)教室と題しまして、講師に登米市南方町「花かご」店主阿部先生を迎え、11名の部員が参加しました。

研修会が終了するころには、正月用の生け花で華やかな教室となり、完成した作品に誇らしげの様子でした。

New Face ～新人紹介～



吉田 守

はじめまして。昨年5月より仙南クーラーステーションに配属となりました吉田守と申します。前職は、牛乳製造工場で、製造、物流業務をしておりました。この度、職員として働かせて頂けることになりました。

当時は、不安な事ばかりでしたが、職場の皆様に暖かいご指導を頂きながら今日まで勤める事が出来ました。これからも基準に基づく生乳の検査を行ってまいります。

また、失敗をしても成長の糧とし、諦めず努力しチャレンジする心で業務に取り組み、諸先輩方のご指導を仰ぎながら貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

農家の皆様へ

農家の皆様と接する機会はなかなかありませんが、乳の品質向上のきっかけに少なからず御役に立てればと考え、依頼検査お待ちしております。



小島 学

はじめまして。5月1日より仙南支所指導係に配属となりました小島学と申します。出身は宮城県蔵王町です。私の実家も酪農をしており幼い頃は牛舎を遊び場にして育ちました。高校は柴田農林高校の農業科学科、前職は牛乳製造工場で検査業務をしておりましたが、ご縁がありましてこの度、職員として働かせて頂くことになりました。今までの職場とは違い分からないことばかりですが、上司、先輩の方々が親切丁寧に教えてくださるので、やりがいを感じながら毎日仕事をしております。まだまだ経験不足でご迷惑おかけしてばかりですが、これから様々な業務を経験し学んで農家の皆さんに信頼して頂ける職員を目指し、頑張りたいと思います。今後とも皆様のご指導よろしくお願い致します。

牛乳・乳製品利用料理コンクール開催される

宮城県牛乳普及協会

平成25年11月22日(金)仙台市民会館に於いて、平成25年度牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会を開催いたしました。

家庭で手軽に作れる牛乳乳製品を使った料理を募集し、皆様に牛乳乳製品の良さをPRすることで消費拡大を図りました。

応募者数160名の中から、書類審査を通じた10代から60代までの男女10名が競い合い、グランプリが決定いたしました。

最優秀賞には、気仙沼高等学校の小野寺晴香さんの「グラタン春巻き」に決まり、また優秀賞には、本吉響高等学校の佐藤優雅さんの「万能ねぎのチーズマフィン」が選ばれ、牛乳乳製品の新しい魅力を引き出したメニューが選ばれました。

今回出場された方のレシピや会場の様子は、当協会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

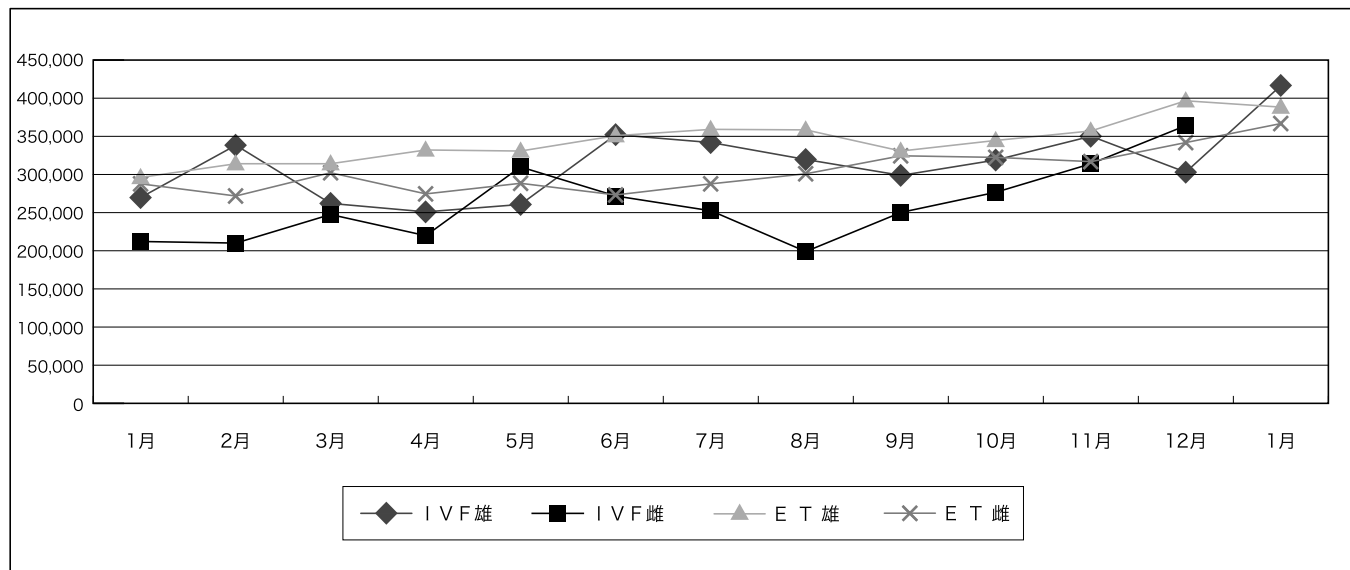
URL <http://miyagi-milch.jp/>



平成25年雌雄別平均価格推移(みやぎ総合家畜市場)

単位: 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
IVF雄	270,000	338,250	262,429	251,000	260,667	352,000	342,000	319,667	299,143	318,667	350,000	303,000	416,500
IVF雌	212,250	210,333	247,250	219,500	310,000	271,500	252,500	199,000	250,000	276,500	314,000	364,000	
ET雄	296,200	314,000	314,412	331,905	330,650	351,176	359,235	358,579	331,056	344,704	356,842	396,955	388,310
ET雌	288,000	272,000	302,182	274,300	288,111	273,294	287,882	301,111	324,385	322,579	317,120	341,632	366,462



理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開催日 平成25年11月28日

付議事項 第1号議案 平成25年度上半期決算にかかる監事監査報告について
 第2号議案 固定資産の取得について
 第3号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開催日 平成25年12月12日

付議事項 第1号議案 役員候補者推薦実施規則の一部変更について
 第2号議案 理事との利益相反取引の承認について

11月 1日	美里町立小牛田中学校職場訪問 全国和牛能力共進会宮城県実行委員会・総会	組合本所 仙台市
11月 2日	2013東日本デイリーショー	岩手県
11月 3日	気仙沼市産業まつり	気仙沼市
11月 6日	平成25年度学校給食用牛乳推進協議会	仙台市
11月 7日	日本酪農政治連盟常任・中央委員会、自民党酪政会	東京都
11月 8日	第11回乳用牛ベビーショー 年金委員・健康保険委員合同研修会	美里町 大崎市
11月11日	平成25年度みやぎ食育フォーラム 宮城県酪農団体協議会	仙台市 組合本所
11月12日	みやぎまるごとフェスティバル事務局会議 平成25年度上半期決算監査	仙台市 組合本所
11月13日	第65回日本酪農研究会(酪農経営コンクール) 平成25年度上半期決算監査 白石支部研修会	仙台市 組合本所他 仙台市
11月14日	平成25年度上半期決算監査 全酪連仙台支所購買・畜産・指導主任者会議 ～15日	組合本所 山形県
11月16日	第25回仙台市収穫まつり ～17日	仙台市
11月18日	平成25年度地域自主防疫推進会議 全酪連会員担当者会議	柴田町 東京都
11月19日	平成25年度地域自主防疫推進会議 東北酪農青年婦人会議25年度秋季酪農研修会 ～20日	美里町 松島町
11月20日	哺育育成センター運営委員会 年末調整説明会	気仙沼市 美里町
11月21日	平成25年度肉用子牛生産者補給金制度調査指導 平成25年度死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業会議	組合本所 仙台市
11月22日	牛乳乳製品利用料理コンクール宮城県大会 東北生販事業推進委員会 平成25年度高病原性鳥インフルエンザ防疫演習	仙台市 仙台市 大崎市
11月24日	とよま産業まつり	登米市
11月25日	馬事畜産振興にかかる現地検討会	岩手県
11月26日	旅行会研修旅行 ～28日 平成25年度中央畜産技術研修会(酪農ヘルパー)～27日	京都府 福島県
11月27日	平成25年度退職準備セミナー JA東電損害賠償対策宮城県協議会第28回総会 平成25年度第2回大崎地域自給飼料生産連携研究会	仙台市 仙台市 大崎市
11月28日	第8回理事会 (株)みやぎの運送取締役会 (公財)畜産近代化リース協会業務推進打合せ会議	組合本所 組合本所 東京都
11月30日	明治牛乳職人倶楽部料理講習会	大和町
12月 2日	婦人部大崎支部研修会	栗原市
12月 4日	第2回宮城県生乳取扱者認定委員会 飼料用イネ・TMRセンターに関する情報交換会 ～5日	仙台市 東京都
12月 5日	気仙沼市本吉放牧場衛生検査・放牧検討会 瀬峰支部研修会 東北生販事業推進委員会	気仙沼市 大崎市 仙台市
12月 6日	平成25年度酪農ヘルパー事業優良事例発表会 精神障害者雇用促進セミナー	東京都 仙台市

12月 8日	酪農フレンズパーティー	仙 台 市
12月 9日	DMS相談会	組 合 本 所
	農畜産物損害賠償対策宮城県協議会への要請	仙 台 市
12月10日	JA人事教育担当部課長会議	名 取 市
	築館支部研修会	栗 原 市
	廃用牛に係る東電との交渉	仙 台 市
12月11日	黒川支部酪農研修会	大 衡 村
	一迫支部酪農研修会	大 崎 市
12月12日	第9回理事会	松 島 町
	平成25年度交通安全功労者等表彰式	美 里 町
	平成25年度畜産特別資金推進事業現地指導班会議	仙 台 市
	平成25年度畜産近代化リース協会事業打合せ会	仙 台 市
	役職員・取引先合同懇談会 ～13日	松 島 町
12月13日	全酪連酪農セミナー2013・ワークショップ2013	仙 台 市
	東北生販理事会	仙 台 市
12月16日	婦人部栗原支部研修会	栗 原 市
12月17日	上原酪農組合研修会	大 崎 市
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	東 京 都
	青年部栗原支部研修会	栗 原 市
12月18日	加美支部研修会	加 美 町
12月19日	(一社)酪農ヘルパー全国協会総会	東 京 都
	青年部登米支部研修会	登 米 市
12月20日	平成26年度JA経営計画樹立研修会	名 取 市
	東電原発事故損害賠償対策宮城県協議会第29回総会	仙 台 市
	TPP交渉に関する緊急学習会	仙 台 市
	大崎支部研修会	大 崎 市
12月27日	仕事納め	

人事のお知らせ

◎平成25年11月30日付け

総務課総務係 青沼 むつ子さんが定年退職されました。長い間ご苦労さまでした。

◎平成25年11月15日付け

有期契約職員(新規採用) 総務課総務係 山中 沙稀

有期契約職員(新規採用) 哺育育成センター生産係 熊谷 悟

[編 集 後 記]

新年あけましておめでとうございます。

この年末年始は比較的大雪や暴風の影響は少なく、穏やかに過ごせたのではないのでしょうか。

今年も原発事故による問題が何かと取りざたされると思われますが、組合を挙げて交渉していきますので、根気強く頑張りましょう。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)